

国際シンポジウム「(仮称)住宅の今後、更なる省エネ化への道」

日時: 2011年9月6日

開催地: 石川県地場産業振興センター新館コンベンションホール (定員200人程度)
(金沢市鞍月2丁目20番地)

プログラム

10:00 開会・挨拶 (谷本正憲知事、ハリー=クルト・フォクツベアガー大臣)

1部 講演「実践からの経験と知識」

10:20 「ドイツ国内における、これまでの住宅省エネ化政策」
マンフレッド・ラウシェン氏 (エコセンターNRW 代表取締役)

10:35 「2020年目標達成に向かうドイツ」「プラスエネルギーハウス」
ハンス=ディーター・ヘーグナー氏 (ドイツ連邦国土交通省 本省部長)

11:05 「住宅の省エネ化における断熱、気密、換気、湿度の関係とこれまでの経験」
ユルゲン・ファイト氏 (エコセンターNRW 技術部長)

11:35 質疑応答

11:50 昼休憩

12:50 「アルミハウスプロジェクト」「ATATA-KAYAプロジェクト」
宮下智裕准教授 (金沢工業大学)

13:20 「建物の断熱性能と住まい手の健康について」
岩前篤教授 (近畿大学)

13:50 質疑応答

14:00 休憩

2部: パネルディスカッション「将来への展望」

14:10~16:30 (休憩を含む)

パネリスト: ハンス=ディーター・ヘーグナー氏 (ドイツ連邦国土交通省 本省部長)
調整中 (バイラント)

宮下智裕准教授 (金沢工業大学)

岩前篤教授 (近畿大学)

ユルゲン・ファイト氏 (エコセンターNRW 技術部長)

早田宏徳氏 (クラブヴォーバン、日本エネルギーパス協会代表理事)

担当テーマ: 「日本初のエネルギーパス発行機関として日本におけるパス制度の普及拡大について」

今泉太爾氏 (低燃費住宅普及の会)

担当テーマ: 「施工工務店の立場として、低燃費住宅、及び日本におけるパス制度普及に向けた実例紹介」

ファシリテータ: 中谷哲郎氏 (リフォーム産業新聞社 取締役編集長)
担当テーマ: 「住宅リノベーション」